

政策シート

政策名 **04 新規創業や新事業展開の促進**

予算費目名 **01 産業振興費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **01 産業経済**

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 **01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

産学官金が連携して本市における創業を促進するため、創業相談窓口を設置し、創業を希望する人への創業支援や創業者のコミュニティ形成を図る。また、高校生等、次世代の起業家マインドの醸成を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	④教育						
--------	-----	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	99,128	43,764	55,551			
決算	90,863	39,152				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	61,600	40,180	15,400			
年間経費(予算又は決算+A+B)	152,463	79,332	70,951			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
創業支援事業に伴う新規創業数(法人+個人) 【累計】(H28~R6)	件	目標	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
		実績	1,465	1,810				
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

創業支援の中心総合窓口機能を持つ「はままつ起業家カフェ」では4名の相談員による相談対応を行い、相談者の創業に成功したほか、インキュベーション施設HI-Cubeへの入居5年未満の企業に対し、家賃補助やインキュベーションマネージャーによる経営・技術支援等についてのアドバイス支援を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
インキュベーション施設HI-Cubeに入居するベンチャー企業に対し、貸室等の賃料補助、経営・技術支援等を行い、9社の新規入居(13室の増室)と併せて、入居者に対し事業化や新事業展開等を促進した。はままつ起業家カフェの延相談件数は1,209件と前年度並み、新規創業者数は135件と前年度実績を上回りコロナ禍においても順調な事業展開を図ることができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	創業支援事業	○	○	○		69,488	54,088	2.2				
2	産業振興運営経費(一般諸経費のみ)	—	—	—		1,463	1,463					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						70,951	55,551	2.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	01	001702000	01	産業振興課	岩崎 英浩	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 創業支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

小中高校生を対象にした次代の起業家育成事業や、独立・起業に関心のある人や創業希望者を対象にした、ワンストップ型の創業支援窓口「はままつ起業家カフェ」の運営を通じて、市域の創業機運の醸成を図りながら、新規創業者数の増加を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H27	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(3)ア	I-1(3)イ					
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	7						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性	小中高校生を対象にした次代の起業家育成事業や、独立・起業に関心のある人や創業希望者を対象にした、ワンストップ型の創業支援窓口「はままつ起業家カフェ」の運営を通じて、市域の創業機運の醸成を図りながら、新規創業者数の増加を目指す。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	94,986	41,166	54,088			
	決算	87,104	36,554				
	国・県支出	2,238					
	市債						
	その他	1,312					
	一般財源 一般会計繰入金	83,554	36,554	54,088			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		42,700	15,680	15,400			
人工	正規	6.1	2.2	2.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				
年間経費(予算又は決算+A+B)		129,804	52,234	69,488			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
法人開業数(件)【R1～累計】		7	目標	850	1,700	2,550	3,400	4,250	5,100
			実績	875	R3.9頃確定				
創業支援事業に伴う新規創業者数 (法人登記数)(人)		—	目標	120	125	128	130	130	130
			実績	130	98				
創業支援事業に伴う新規創業者数 (法人+個人)(件)【H28～累計】	I-1(3) イ	—	目標	—	1,785	2,155	2,535	2,925	3,325
			実績	1,465	1,810				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	01	001702000	01	産業振興課	岩崎 英浩	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

[R1-R4重点戦略項目№7]

- ①はままつ起業家カフェの運営
- ②創業者支援施設の入居者への支援: HI-Cube入居者に対する支援
- ③小中高校生向け起業家育成講座
- ④高校生ビジネスプランコンテスト等

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・HI-Cube入居ベンチャー等に対し、賃貸補助、専門家による経営・技術支援等を行い、開発テーマの事業化や新事業展開や新分野への進出を促進させることができた。
 ・「はままつ起業家カフェ」を中心に、地域の創業支援機関との連携を図ることで、創業支援事業に伴う地域の法人新規創業についても令和2年度実績98人であった。個人創業を合わせた新規創業の累計は1,810件(目標1,785件)と概ね順調に推移している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

入居するベンチャー企業に対し、貸室等の賃料補助、経営・技術支援等を行い、事業化や新事業展開等を促進した。はままつ起業家カフェの延相談件数は1,209件と前年度並み、新規創業者数は135件と前年度実績を上回り順調な事業展開を図ることができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

創業支援として、HI-Cube入居者への専門家による経営・技術支援等、入居促進活動を強化するとともに、創業希望者のニーズの増加に対しはままつ起業家カフェのより効率的な運営を図るため、各種支援機関との連携体制をより強化する。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ①はままつ起業家カフェの運営
- ②創業者支援施設の入居者への支援: HI-Cube入居者に対する支援
- ③小中高校生向け起業家育成講座
- ④高校生ビジネスプランコンテスト等

補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 01 創業支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー ・起業サロン ・起業実践サロン ・創業支援相談窓口 ・創業支援補助金 ・情報発信 ・はままつ起業家カフェの施設維持管理 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー ・起業サロン ・起業実践サロン ・創業支援相談窓口 ・創業支援補助金 ・情報発信 ・はままつ起業家カフェの施設維持管理 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー ・起業サロン ・起業実践サロン ・創業支援相談窓口 ・創業支援補助金 ・情報発信 ・はままつ起業家カフェの施設維持管理 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナー ・起業サロン ・起業実践サロン ・創業支援相談窓口 ・創業支援補助金 ・情報発信 ・はままつ起業家カフェの施設維持管理 等

事業シート (事業名) 02 産業振興運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

産業振興課業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H23		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,142	2,598	1,463			
	決算	3,759	2,598				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,759	2,598	1,463			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	18,900	24,500				
人工	正規	2.7	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		22,659	27,098	1,463			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 01 04 01 001702000 02 産業振興課 村上 広幸 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

産業振興課業務における組織運営経費。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



産業振興課業務における組織運営経費。

政策シート 政策名 04 新規創業や新事業展開の促進

予算費目名 02 スタートアップ推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

本市において、ものづくりを中心に革新的な技術やビジネスアイデアを持つスタートアップの創出や、市内スタートアップの成長を加速させる環境を整備するとともに、首都圏等からも優れたビジネスやアイデアを持つスタートアップの誘致を進める。このことにより、スタートアップが生まれ、集まり、育つエコシステムを持つ都市「浜松バレー」を実現していく。
このエコシステムに集まるスタートアップのアイデアと、これまで本市の発展を支えてきたものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出し、地域経済の持続的発展につなげていく。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑨イノベーション						
--------	----------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	160,451	742,674	404,943			
決算	149,775	693,768				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	44,800	43,400	72,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	194,575	737,168	477,743			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
スタートアップの創業数	社/年	目標	—	10	15	20	25	30
		実績	16	31				
市内企業に対するファンドの年間投資額	百万円	目標	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
		実績	2,980	5616				
スタートアップの誘致数	社/年	目標	1	4	6	8	10	12
		実績	4	25				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

本市において、ものづくりを中心に革新的な技術やビジネスアイデアを持つスタートアップの創出や、市内スタートアップの成長を加速させる環境を整備するとともに、首都圏等からも優れたビジネスやアイデアを持つスタートアップの誘致を進める。このことにより、スタートアップが生まれ、集まり、育つエコシステムを持つ都市「浜松バレー」を実現していく。
このエコシステムに集まるスタートアップのアイデアと、これまで本市の発展を支えてきたものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出し、地域経済の持続的発展につなげていく。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 進んでいる

令和2年7月に、内閣府から「スタートアップエコシステム グローバル拠点都市」の採択を受け、順調に政策が進捗した。また、コロナ禍により、首都圏と本市の往来が制限されるなど、誘致活動に支障が出たが、スタートアップ施策の推進により、スタートアップの地方進出は加速した。
ファンドサポート事業は、新たに認定VC13社を認定(合計23社)し、スタートアップ10社に424.7百万円の交付金を交付し、約7.8億円の投資につながった。実証実験サポート事業では、新たにスタートアップ7社を採択し、12の実証実験を実施し、ビジネスモデルの検証を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	(新規) スタートアップ支援事業	○	○	○		396,046	357,266	5.5			0.1	
2	(新規) スタートアップ誘致事業	○		○		46,297	33,557	1.7			0.3	
3	首都圏ビジネス情報センター事業	○	○	○		26,614	12,614	2.0				
4	(新規) スタートアップ推進デジタル運営経費					739	179				0.2	
5	(新規) スタートアップ推進運営経費					8,047	1,327	0.8			0.4	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						477,743	404,943	10.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 (新規)スタートアップ支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

本市において、スタートアップの創出や成長を後押しするための各種事業を実施し、新たなビジネスや製品の創出につなげ、地域経済の活性化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H28	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(3)ア						
重点戦略	○	(戦略項目)	8						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑨イノベーション									
事業とゴールの関連性	市内スタートアップ等の資金調達手法の拡大や、製品開発のための実証実験、経営力アップ等の支援を通じて、新しいビジネスの創出、技術力の向上、事業拡大につなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	105,524	685,482	357,266			
	決算	102,605	659,462				
	国・県支出	5,736	16,165	11,006			
	市債						
	その他	1,312	1,188	1,188			
	一般財源	95,557	642,109	345,072			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,000	25,480	38,780			
人工	正規	3.0	3.6	5.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		123,605	684,942	396,046			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
スタートアップの創業数(社/年)	—	—	目標	—	10	15	20	25	30
			実績	16	31.0				
市内スタートアップに対するファンドの年間投資額(百万円/年)	—	8	目標	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
			実績	2,980	5,616				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	01	スタートアップ推進課	江馬 正信	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目No.8】

- ①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、同額の交付金を交付。(上限5000万円、医療系は7000万円)
- ②実証実験サポート事業…全国のベンチャー企業から実証実験プランを募集し、優れたものを本市が全面的に支援し実施。
- ③ベンチャー支援アドバイザー…本市のベンチャー支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ④ベンチャー経営塾…ベンチャー企業の経営者や大学生などを対象に、戦略的な経営を学ぶ講座を実施。
- ⑤ものづくりコワーキングスペース整備事業費補助…ものづくりワークを整備する民間事業者への補助(補助率1/3、上限2000万円)
- ⑥ものづくり×ベンチャーによるイノベーション創出促進事業…市内のものづくり企業と全国のベンチャー企業の協業を支援。
- ⑦新規進出ものづくりベンチャー成長加速化補助金…本市に進出した市外ベンチャー企業が市内企業に発注した場合への補助(補助率1/2、上限300万円)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

ファンドサポート事業では、新たに認定VC13社を認定(合計23社)し、スタートアップ10社に424.7百万円の交付金を交付した。実証実験サポート事業では、新たにスタートアップ7社を採択し、12の実証実験をサポートした。ものづくり×ベンチャー事業では、スタートアップ55社から申し込みがあり、3プロジェクトが成立した。その他、各種事業の実施により、地域にスタートアップ25社の進出や、当地域への投資5,616百万円を呼びこむなど、スタートアップが生まれ、育つ環境の整備を進めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和2年7月に、内閣府から「スタートアップエコシステム グローバル拠点都市」の採択を受けた。
 国において、成長戦略に「グリーン」と「デジタル」を掲げており、本市産業界においてそれらの対応が迫られる中、イノベーション創出に対してスタートアップの技術やアイデアに寄せられる期待は高まっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・IT人材育成・獲得支援事業、ベンチャー企業集積促進情報発信事業を廃止した。
- ・「ものづくり×ベンチャー」によるイノベーション創出事業、進出補助金、Webイベントなどを新たに実施した。
- ・ファンドサポート事業は、交付金総額を増額した。
- ・財源で地方創生交付金等を積極的に活用した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・グループ体制(ベンチャー支援グループ)から課(スタートアップ支援課)に移行し事業を展開する。
- ・次世代スタートアップの育成のため、新たにNext Innovator育成事業を実施する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目No.8】

- ①浜松ベンチャー連合…市内スタートアップが集う意見交換会を開催し、コミュニティ形成を支援。
- ②ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、同額の交付金を交付。
- ③実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたものを全面的に支援し実施。
- ④ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置。
- ⑤ベンチャー経営塾…スタートアップの経営者や大学生などを対象に、戦略的な経営を学ぶ講座を実施。
- ⑥「ものづくり×ベンチャー」によるイノベーション創出促進事業…市内のものづくり企業と全国のスタートアップの協業を支援。
- ⑦新規進出ものづくりベンチャー成長加速化補助金…本市に進出した市外スタートアップが市内企業に発注した場合への補助(補助率1/2、上限300万円)
- ⑧市外ベンチャー企業等進出支援事業費補助金…本市に進出した市外スタートアップが市内にオフィスを構えた場合への補助(補助率1/2、上限5万円/月)
- ⑨Webベンチャーイベント…本市のスタートアップ支援情報をWebイベントを通じて全国に発信。
- ⑩Next Innovator育成事業…時代の変化に対応し、社会課題を解決できるビジネスを創出できる人材を育成し、創業にまでつなげる。
- ⑪スタートアップ都市推進協議会負担金…スタートアップ支援に積極的に取り組む首長が集まる当会に参加し、都市間連携によるPRを行う。

事業シート (事業名) 02 (新規)スタートアップ誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、ものづくりに特化した本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(3)ア						
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑧成長・雇用								
事業とゴールの関連性	市外スタートアップ等の誘致を通じて、本市企業との協業、本市における新しいビジネスの創出、生産の効率化などにつなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	31,209	44,201	33,557			
	決算	27,736	22,683				
	国・県支出		3,951	9,518			
	市債						
	その他	65	2,695	4,169			
	一般財源 一般会計繰入金	27,671	16,037	19,870			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	3,920	12,740			
人工	正規	1.4	0.4	1.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.3			
年間経費(予算又は決算+A+B)		37,536	26,603	46,297			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
スタートアップの誘致数	I-1(3)ア	—	目標	1	4	6	8	10	12
			実績	4	25				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	02	スタートアップ推進課	江馬 正信	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ①はままつトライアルオフィス運営事業…都心部のワーキングスペースを運営し、スタートアップコミュニティの活性化等を図るとともに、スタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: ササシティ浜松中央館4階(利用時間 10:00~20:00) ◆座席数: 最大30席(約69㎡)>
- ②舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域のサテライトオフィスを運営し、市外スタートアップの誘致につなげる。
 <◆場所: 舞阪協働センター4階 ◆部屋数: 事務室6室(約30~50㎡) 共有スペース1室、管理人室1室>
- ③天竜トライアルオフィス…中山間地域のワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やスタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: 天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数: 最大30席>
- ④ベンチャー企業等誘致プロモーション事業…スタートアップに向けて、動画を用いたプロモーションを行い、「浜松＝スタートアップ」というイメージを印象付ける。
- ⑤天竜トライアルオフィスお試しツアー事業…浜松進出に関心を持つスタートアップを天竜トライアルオフィスに招待し、本市のビジネス環境を体感してもらう。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

はままつトライアルオフィスは、コロナ禍の影響があり、利用者1312人(昨年度は2546人)だった。舞阪サテライトオフィスは、空き室1室が埋まり満室となった。天竜トライアルオフィスは、利用者336人と1か月間の閉館を考慮すれば、目標は達成できた。

ベンチャー企業等誘致プロモーション事業、天竜トライアルオフィスお試しツアー事業は、コロナ禍により、次年度に延期となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

令和2年7月に、内閣府から「スタートアップエコシステム グローバル拠点都市」の採択を受けた。
 コロナ禍により、首都圏から地方への動きが加速しており、スタートアップの地方進出の障害が小さくなっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 財源に地方創生交付金等を積極的に活用した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
 財源に地方創生交付金等を積極的に活用していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ①はままつトライアルオフィス運営事業…都心部のワーキングスペースを運営し、スタートアップコミュニティの活性化等を図るとともに、スタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: ササシティ浜松中央館4階(利用時間 10:00~20:00) ◆座席数: 最大30席(約69㎡)>
- ②舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域のサテライトオフィスを運営し、市外スタートアップの誘致につなげる。
 <◆場所: 舞阪協働センター4階 ◆部屋数: 事務室6室(約30~50㎡) 共有スペース1室、管理人室1室>
- ③天竜トライアルオフィス…中山間地域のワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やスタートアップ誘致につなげる。
 <◆場所: 天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数: 最大30席>
- ④首都圏企業拠点誘致事業…
- ⑤ベンチャー企業等誘致パートナー制度…本市への企業誘致に協力・貢献いただける企業をパートナーとして認定。
- ⑥市外ベンチャー企業お試し進出支援事業費補助金…本市への進出を検討するスタートアップ等の、進出準備等のための宿泊に対して経費支援を行う。

事業シート (事業名) 03 首都圏ビジネス情報センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、ものづくりに特化した本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H28		一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(2)イ						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	10						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑨イノベーション									
事業とゴールの関連性	首都圏のベンチャー企業を誘致することにより、本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しすることを目的としており、新事業展開による多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成することができる。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	23,718	12,991	12,614			
	決算	19,434	11,623				
	国・県支出						
	市債						
	その他	391					
	一般財源 一般会計繰入金	19,043	11,623	12,614			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		14,000	14,000	14,000			
人工	正規	2.0	2.0	2.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,434	25,623	26,614			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
企業、大学等の訪問件数	I-1(2)イ	10	目標	350	550	550	550	550	550
			実績	563	463				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 01 基本政策 01 政策 04 予算費目 02 所属コード 001710000 事業 03 (担当課) スタートアップ推進課 (責任者) 江馬 正信 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ①ベンチャー企業誘致...1)コロナ禍において、テレワークの普及が加速し、新しい働き方の推進や、地方への人と情報の流入が加速している中、関係人口の創出や企業誘致に向けた環境整備を促進するため、首都圏企業やワーカーをターゲットに、新しい働き方等に対する意識や考え方を調査し、浜松市への進出に向けた課題や可能性を検討するとともに、今後の事業立案に繋げる。2)本市企業とのマッチングによる新事業展開を後押しするため、コミュニティ型ワークスペースWeWorkを活用し会員企業とのネットワーク構築により首都圏ベンチャー企業等への効果的な誘致活動を進めるとともに、企業訪問による本市情報の提供や、企業情報の収集等の活動を通じて首都圏のベンチャー企業を誘致する。
- ②工場・研究所誘致...首都圏を中心とした優良企業の工場、研究所を新・産業集積エリアをはじめとする第三都田地区工場用地等に誘致し、新規雇用の創出など本市経済の活性化を促進する。
- ③UIターン就職支援...市内の中小企業と首都圏在住の学生を対象とした就職マッチング会の実施、大学訪問による本市情報提供などを通じてUIターンを促進し、本市の次代を担う人材を確保する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

WeWork等での活動により、459件の首都圏企業等を訪問し、本市情報の提供や企業情報の収集を図り、浜松地域企業とのマッチングや、首都圏スタートアップ等との誘致を行った。
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、訪問件数は目標を下回ったが、将来に向けてポストコロナ期における首都圏企業やワーカーの動向調査を実施し、本市への企業誘致やワーカー招へいの可能性及び課題の抽出を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

昨年度の動向調査結果によると、コロナ禍の中、首都圏ワーカーの意向としては、距離的な課題はあるものの、地方移住や二拠点・多拠点居住の意識の高まりがみられた。
また、首都圏企業の過半数がテレワークを継続する意向であり、浜松市進出により、ものづくり企業等との協業などの可能性に期待する声があった。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

アドバイザー業務について、成果指標(年間150件以上の活動を行う)を設け、目標値に対して活動実績を管理することとし、成果を目に見える形に見直したことにより、コロナ禍で新規企業訪問につながるケースが減った中、オンライン開催でのイベント・セミナー等への積極的な参加により新規企業紹介へとつなげる活動も展開してきたが、目標数値に達成することが出来なかった。しかし、積極的な企業誘致活動により、複数のスタートアップが市内進出を検討中。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

WeWorkに加え、新たに企業ネットワークを有するCIC東京を活用したスタートアップの誘致を実施する。また、昨年度の調査結果を踏まえ、首都圏企業等への情報発信を進めるとともに、本市での拠点設置の可能性と課題を検証する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、テレワークの普及が加速し、新しい働き方の推進や、首都圏から地方への動きが加速している。このことを好機と捉え、スタートアップをはじめとする首都圏企業等の誘致を積極的に推進する。

具体的には、昨年度に実施した首都圏企業・ワーカー動向調査結果を踏まえ、「首都圏企業拠点誘致事業」として、本市の魅力、地域のポテンシャル、二拠点生活などの新しいワークスタイルの情報を発信するとともに、首都圏企業等の浜松市内での拠点整備についての可能性や課題を検証する。

また、首都圏のコミュニティ型ワークスペースのWe Workや、イノベーション拠点であるCIC東京を活用し、これら施設の会員企業へ継続して営業活動を行うとともに、新たな企業とのネットワークを構築し、浜松地域への進出や浜松地域企業との協業を促進する。

事業シート (事業名) 04 (新規)スタートアップ推進デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課のデジタルを使用した業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			179			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			179			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)			560			
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)				739			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 01 04 02 001710000 04 スタートアップ推進課 江馬 正信 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

i-Padタブレット通信料

事業シート (事業名) 05 (新規)スタートアップ推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課業務を円滑に進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			1,327			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			1,327			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			6,720			
人工	正規			0.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)				8,047			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 01 04 02 001710000 05 スタートアップ推進課 江馬 正信 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

スタートアップ推進課における組織運営経費。